

第1回JEITAベンチャー賞受賞企業

【受賞企業名：五十音順】

受賞企業名

推薦文（審査評価等）

株式会社アロマジョイン

(株)アロマジョインは、「香り制御装置」という新たなウェアラブルデバイスを提案し、携帯端末市場やゲーム・映画などのエンタテインメント産業などの世界に、香りの時空間制御が可能となる新たなサービスを提供する事業展開を進めている。また、同社の香り制御技術は、自動車・住宅・商業施設などの多種多様な空間の快適性向上に加え、香り刺激による健康増進などヘルスケア分野への展開も期待できる。よって、JEITAベンチャー賞に相応しいと判断した。

株式会社イーディーピー

(株)イーディーピーは、気相成長による高純度ダイヤモンドの製造技術、成長した結晶の種結晶からの分離技術、および複数の単結晶を接続した大型モザイク単結晶の製造技術を事業化し、大型で高純度の単結晶ダイヤモンドの供給を可能にした。ダイヤモンドは、その高い硬度や優れた耐摩耗性などの特徴を生かすことにより、切削工具や光学部品の高性能化が見込める。また、究極の半導体といわれるダイヤモンド半導体の実用化も期待できる。よって、JEITAベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

株式会社QDレーザ

(株)QDレーザは、産学連携により先駆的に開発した量子ドットレーザ技術に基づき、LAN/FTTH、材料加工、計測、ライフサイエンス、センサー、ディスプレイなど、多様なアプリケーション分野で事業展開を進めている。さらに、最近では、網膜走査型レーザアイウェアを開発し、弱視者用機器として本格的な市場化をめざしており、今後の発展を大いに期待できる。よって、JEITAベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

つくばテクノロジー株式会社

つくばテクノロジー(株)は、レーザ励起超音波を利用する非接触レーザ超音波可視化法による欠陥の検出可視化装置、乾電池駆動の省エネルギー・可搬型小型X線非破壊検査装置などを展開し、機材の軽量化と可視化により探傷データの抽出を簡便にしている。それにより医療・ロボット・インフラ・航空・宇宙など様々な分野での非破壊検査技術の運用がさらに進み、安全安心な社会構築へと貢献することが期待される。よって、JEITAベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

株式会社トリマトイス

(株)トリマトイスは、高速光デバイス技術と高速制御回路技術という2つの高度な技術を融合し、ナノ秒オーダーの光高速制御・統合を実現している企業である。同社の高い技術力は、特に光通信市場におけるトラフィック増大等の課題解決への貢献が期待されており、メジャーな工業製品への組み込みなど具体的な提携先さえ見つければ大きな飛躍が期待できる。よって、JEITAベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

株式会社Preferred Networks

Preferred Networks社は、現在注目を浴びている、ディープラーニング技術に関し、いち早く取り組み、フレームワーク「Chainer」を開発し、オープンソースとして公開している。この取り組みに関して、大企業とも連携し、技術を極めようとし、更にオープンソースとして、世の中に広めようとする取り組みを評価し、JEITAベンチャー賞に相応しいと判断した。

株式会社ミライセンス

(株)ミライセンスが開発した、「3D触力覚型」インタフェースという新たなHMIが実用化すれば、デジタルの世界において「さわりごっこ」を疑似体験できるようになる。日本のお家芸であるゲーム・コンテンツにさらなる付加価値を加えることで、エンタテインメント産業の拡大が見込める。産業機器の遠隔操作や保守運用作業のトレーニングといった業務用途への適用など、新たなICTサービス創出にも期待がかかる。よって、JEITAベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

株式会社ルートレック・ネットワークス

(株)ルートレック・ネットワークスが製品化したIoTとクラウドを活用した次世代型の点滴灌漑システム「ゼロアグリ」は一般的な土耕の施設栽培(ビニールハウス)を市場としており、かん水・施肥の「経験と勘」をセンサー情報と栽培アルゴリズムで代替し、省力化ならびに水・肥料の量をおよそ半減しながら、熟練農家で25～30%の収量増を達成(国内実績)している。よって、JEITAベンチャー賞に相応しい企業と判断した。